

# 長門市下水道事業経営戦略 説明資料

令和3年3月

長門市上下水道局

## 経営戦略の概要

公営企業については、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少等に伴う料金収入の減少等により経営環境は厳しさを増しており、普段の経営健全化の取組が求められている。

このような中、公営企業が住民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する役割を果たしており、将来にわたってもサービスの提供を安定的に継続することが可能となるように、国から中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定するよう要請を受けている。

(国の改革工程表では令和2年度に「経営戦略」の策定率を100%とすることとしている。)

### 【長門市下水道事業の経営戦略】

- 1 計画期間 令和2年度～令和11年度(10年間)
- 2 策定単位 長門市の下水道事業全体(①～④)
  - ①公共下水道
  - ②特定環境保全公共下水道
  - ③農業集落排水
  - ④漁業集落排水
- 3 公表時期 令和3年3月

## 事業概要

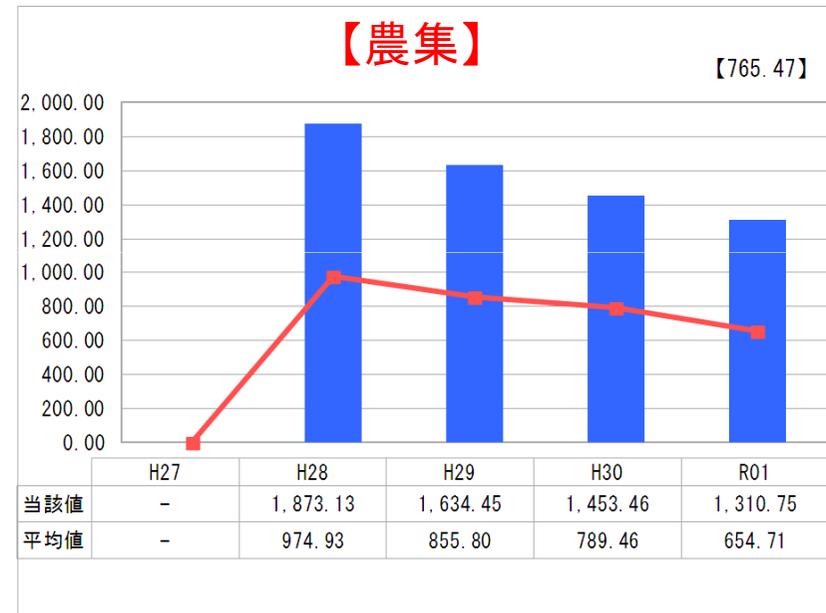
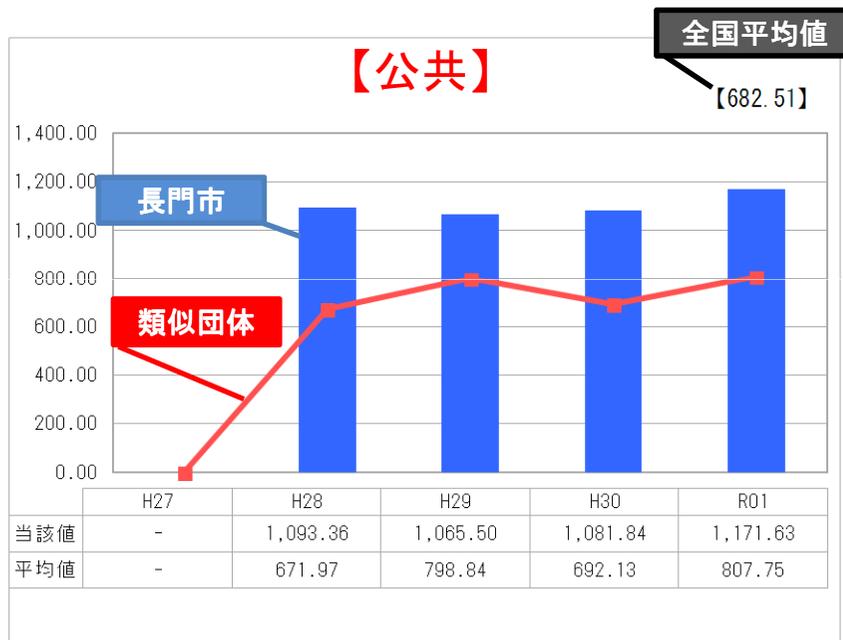
### 【経営比較分析表等を活用した現状分析】

1. 企業債の残高
2. 一般会計繰入金と下水道使用料
3. 汚水処理原価と経費回収率

# 事業概要

## 1. 企業債残高

企業債残高対事業規模比率 (企業債現在高合計÷下水道使用料等) 【下水道事業全体 1,250.46%】



### 【比較】

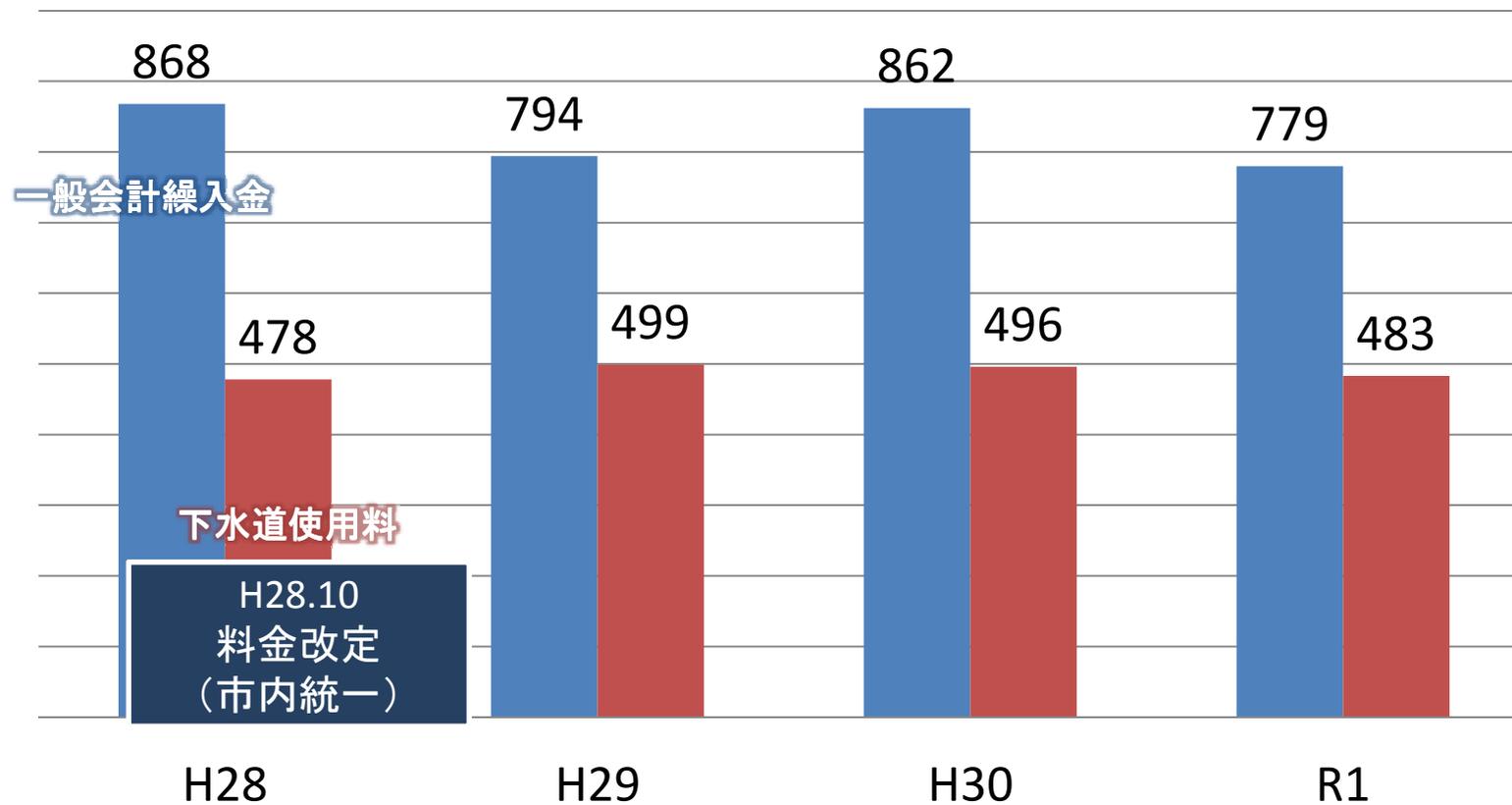
使用料収入に対する借金の残高の割合が非常に高い。

類似団体比較 公共1.4倍    農集2.0倍  
 全国平均比較 公共1.7倍    農集1.7倍

## 事業概要

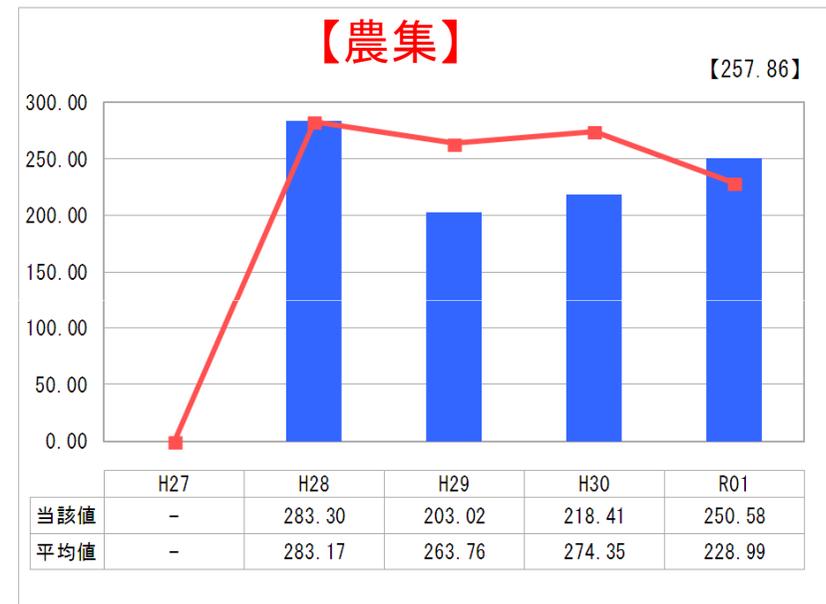
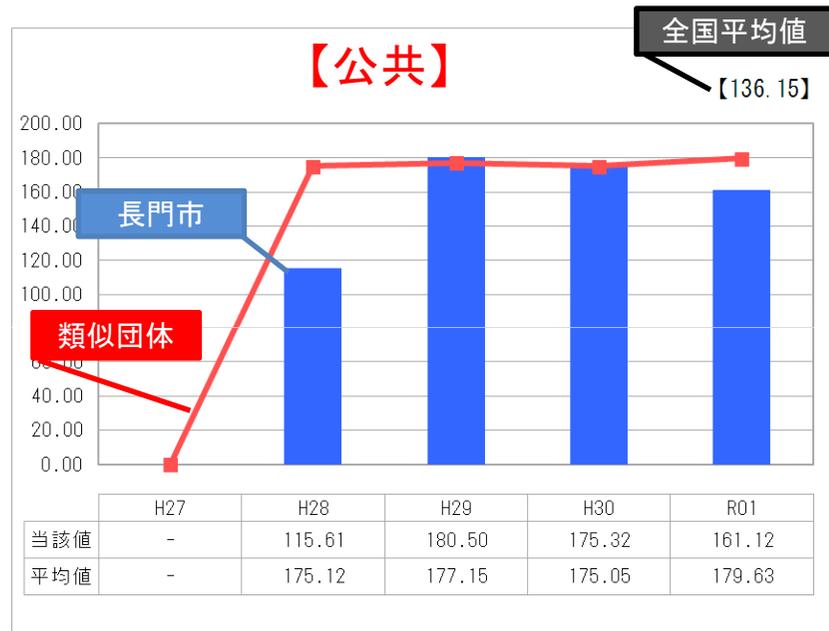
### 2. 一般会計繰入金と下水道使用料

(単位:百万円)



## 事業概要

汚水処理原価(円) (汚水処理費÷有収水量)【下水道事業全体 190.10円】



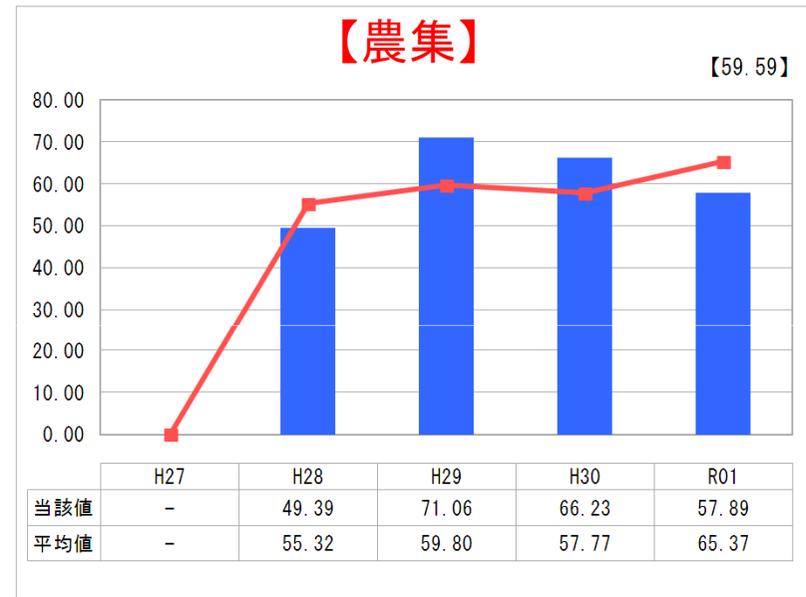
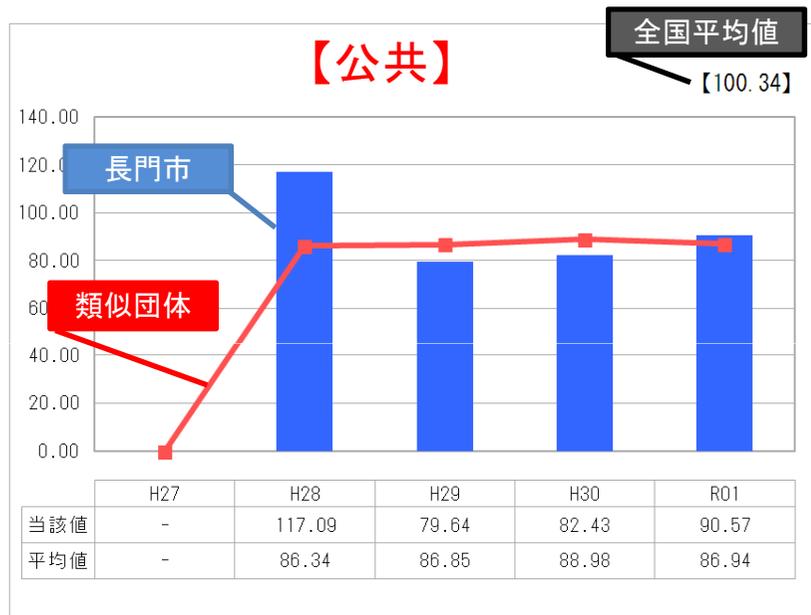
### 【比較】

有収水量1m<sup>3</sup>あたりにかかる汚水処理費用であり、全事業では平均並みである。

類似団体比較 公共:良い    農集:悪い  
 全国平均比較 公共:悪い    農集:良い

## 事業概要

経費回収率(%) (使用料単価÷汚水処理原価) 【下水道事業全体 76.7%】



### 【比較】

使用料収入で賄える経費の割合が100%未満と低い。

類似団体比較 公共: 良い    農集: 悪い  
 全国平均比較 公共: 悪い    農集: 悪い

## 事業概要

### 【経営比較分析表等を活用した現状分析】

#### 1. 企業債残高

平成初期～平成20年頃までに集落排水の整備を集中的に行い、現在は東深川浄化センターの大規模改修を実施しているため、**企業債残高が非常に多い時期**となっている。

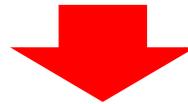
#### 2. 一般会計繰入金と下水道使用料

企業債の返済や維持管理費が多額にかかるため、現在の使用料では運営できていない。**一般会計繰入金により補填し**収支を均衡させている。

#### 3. 汚水処理原価と経費回収率

汚水処理原価は平均並みだが、下水道使用料が低い**ため経費回収率が低い。**

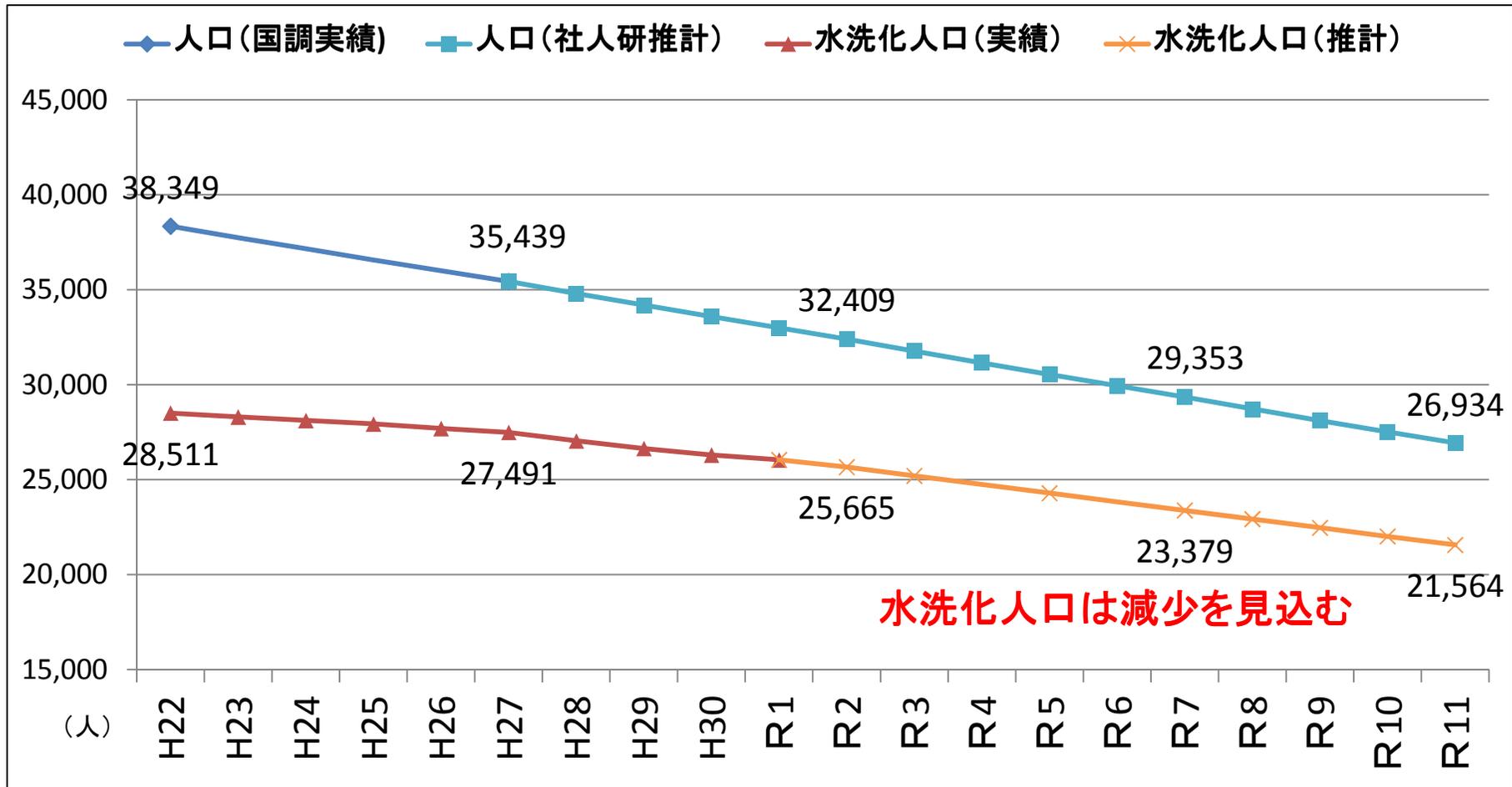
使用料単価：国が求める最低額150円  
【R1長門市】 145.74円



**多額の一般会計繰入金は、下水道を利用する住民と利用していない住民との不公平が生じるため、使用料の適正化を図ることが必要である。**

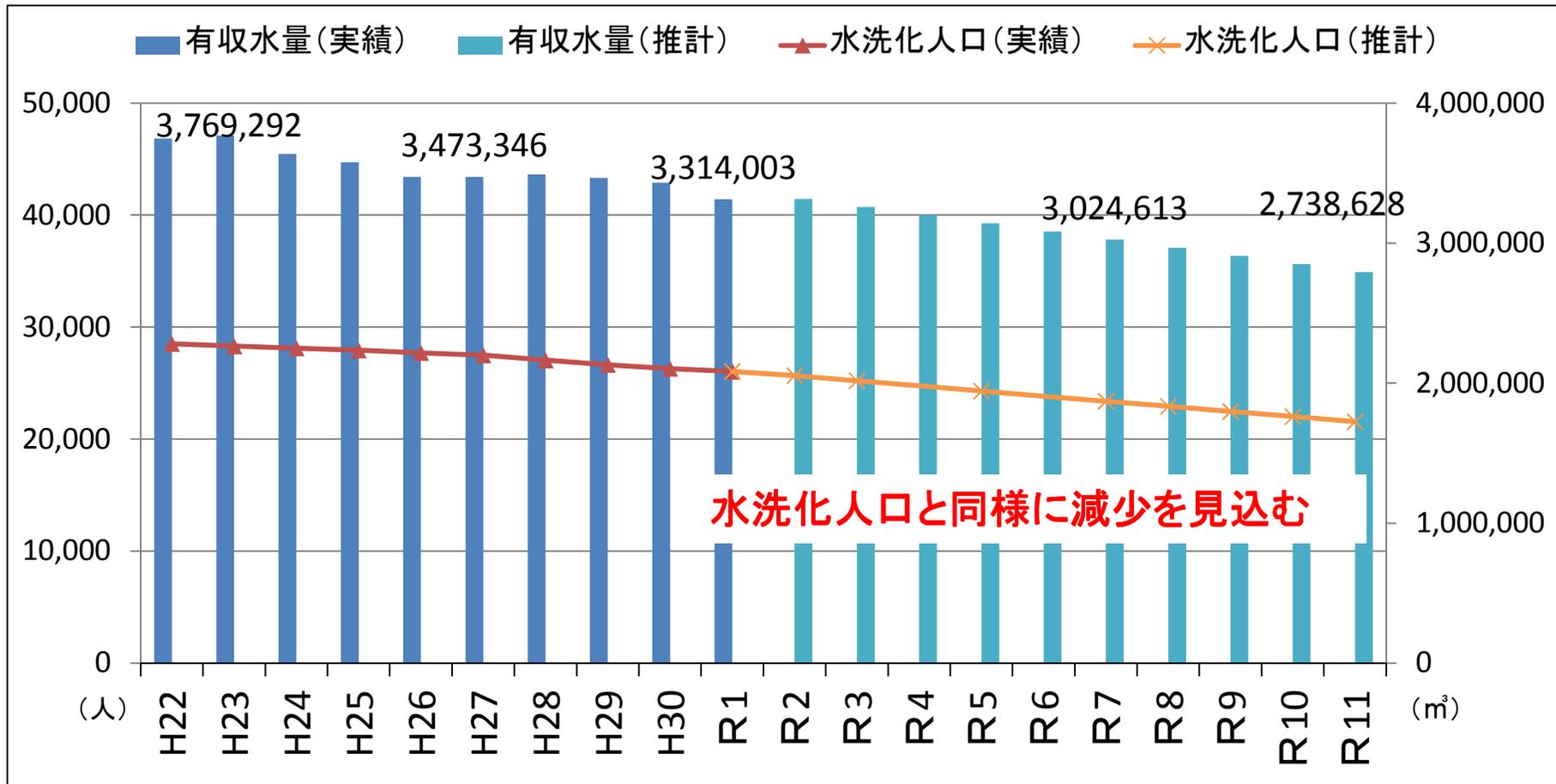
## 将来の事業環境

### (1) 水洗化人口の予測



## 将来の事業環境

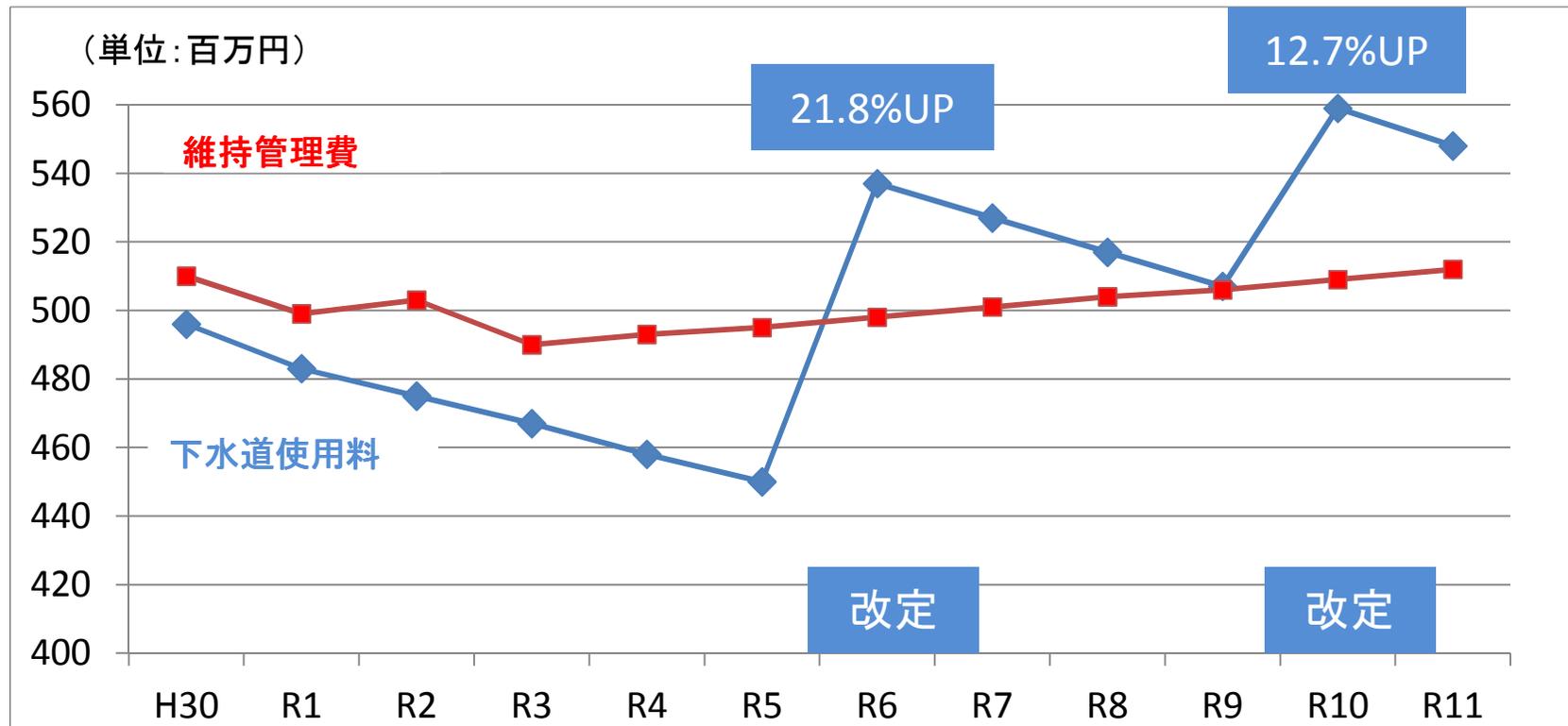
### (2) 有収水量の予測



## 将来の事業環境

### (3) 使用料収入の見通し

- 下水道使用料は4年毎に見直しを行う。(使用料算定期間は3~5年:国土交通省)
- 令和6年、10年に使用料の改定を行う計画。
- 改定率の水準は、資本費を含めると現実的な改定幅とならないため、維持管理費を基準とし、改定後は維持管理費を下回らないように算定。



## 将来の事業環境

### (4) 施設の見通し

- ・東深川浄化センター(昭和47年供用開始)の更新
- ・集落排水施設の統廃合
- ・老朽管の更新

### (5) 組織の見通し

- ・上下水道局の設置による組織力強化と業務の効率化
- ・技術の継承や研修参加などによる人材育成
- ・業務における民間活用の検討

**「安全・安心で快適な下水道サービスを、持続的・安定的に提供する」**

### **1. 投資の合理化**

- ・ 更新投資額の平準化
- ・ 施設規模の最適化
- ・ 集落排水の統廃合

### **2. 効率的な事業執行**

- ・ 業務の効率化とコスト削減
- ・ 性能発注による包括的民間委託の拡大検討

### **3. 収入の確保と負担の適正化**

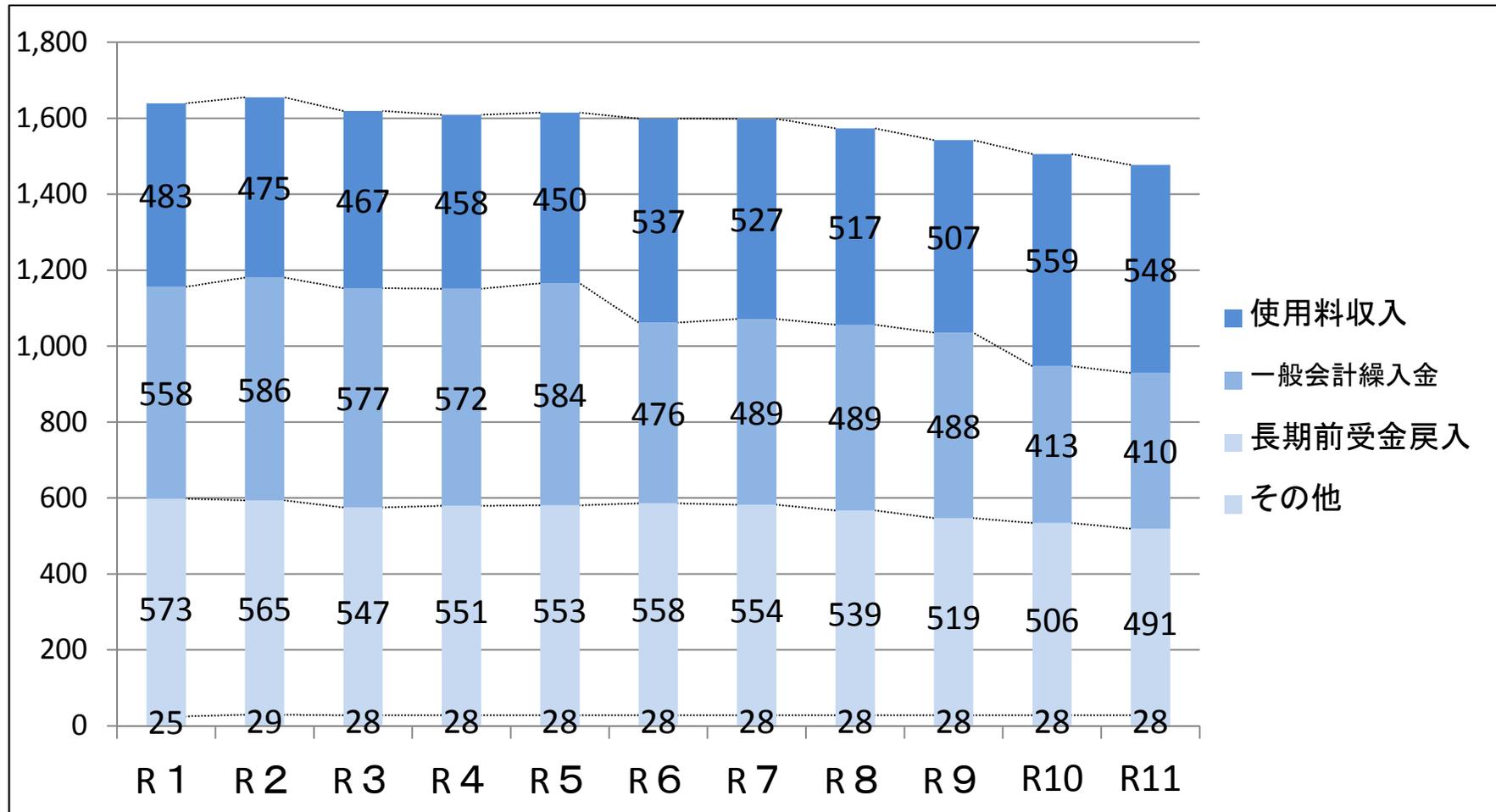
- ・ 収入の確保と一般会計との負担区分の適正化
- ・ 接続率及び使用料の収納率の向上
- ・ 国や企業債の資金の調達

## 投資・財政計画(収支計画)

### (1) 投資・財政計画(収支計画)

#### 収益的收入

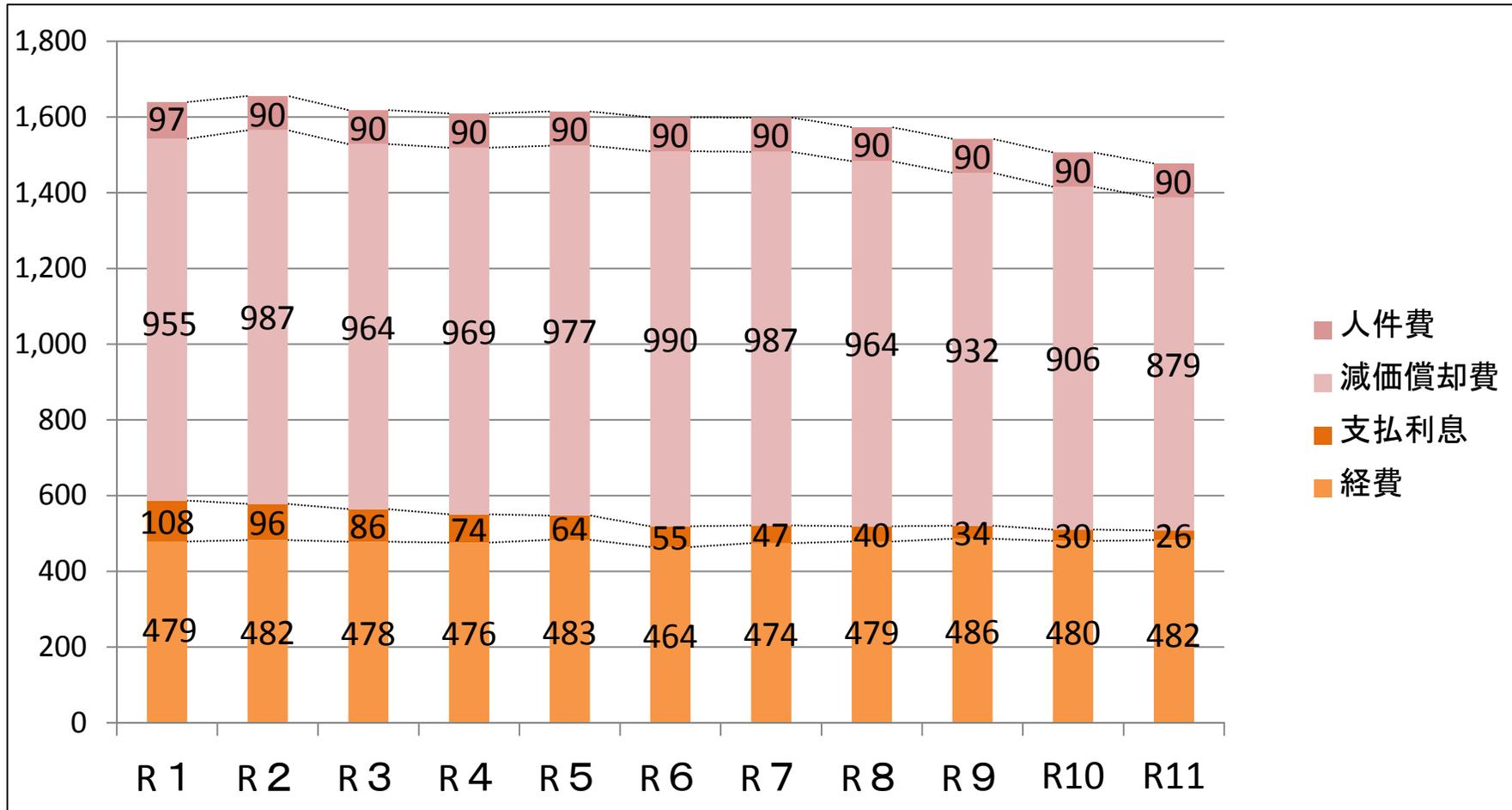
(単位:百万円)



## 投資・財政計画(収支計画)

### 収益の支出

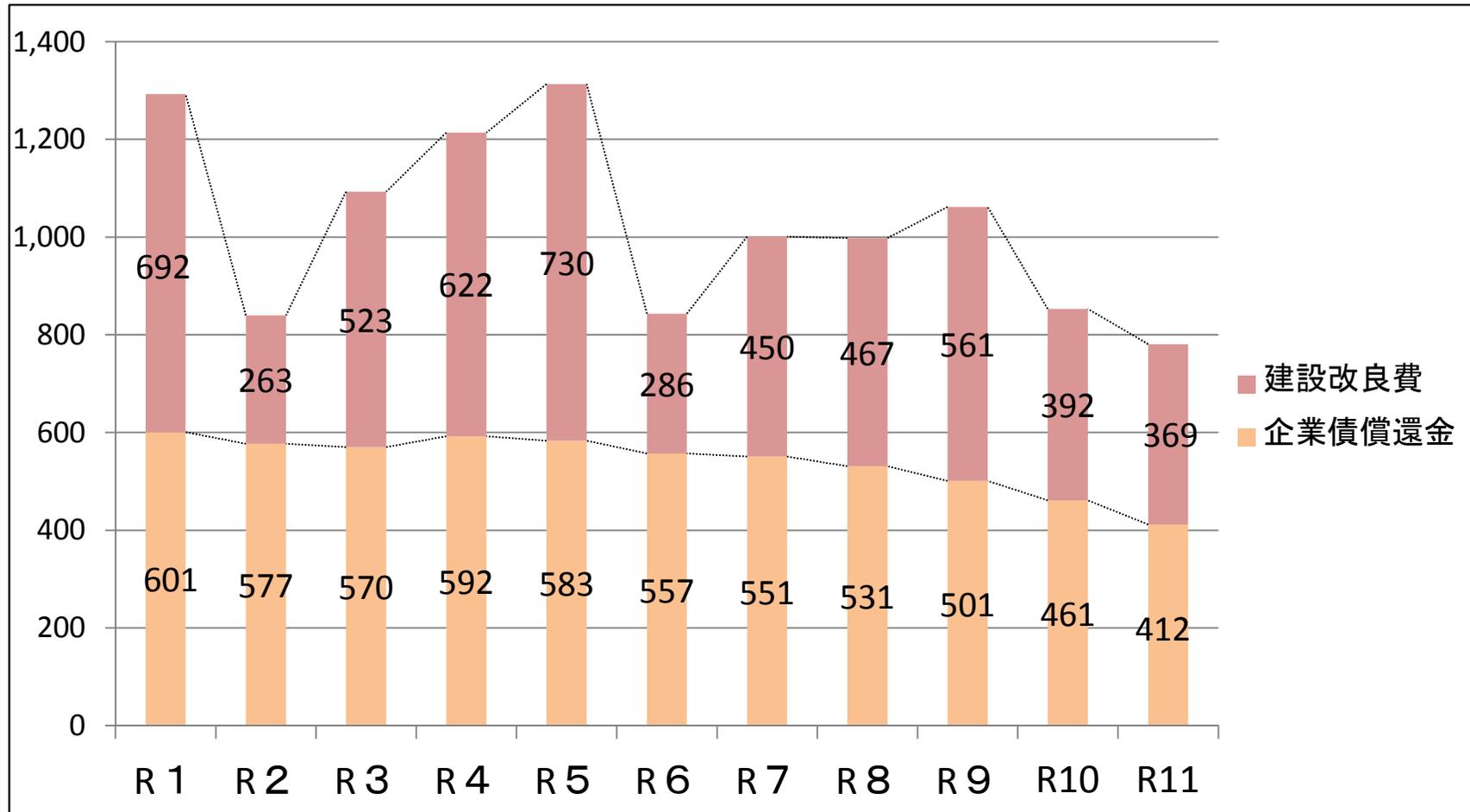
(単位:百万円)



## 投資・財政計画(収支計画)

### 資本的支出

(単位:百万円)



## 投資・財政計画(収支計画)

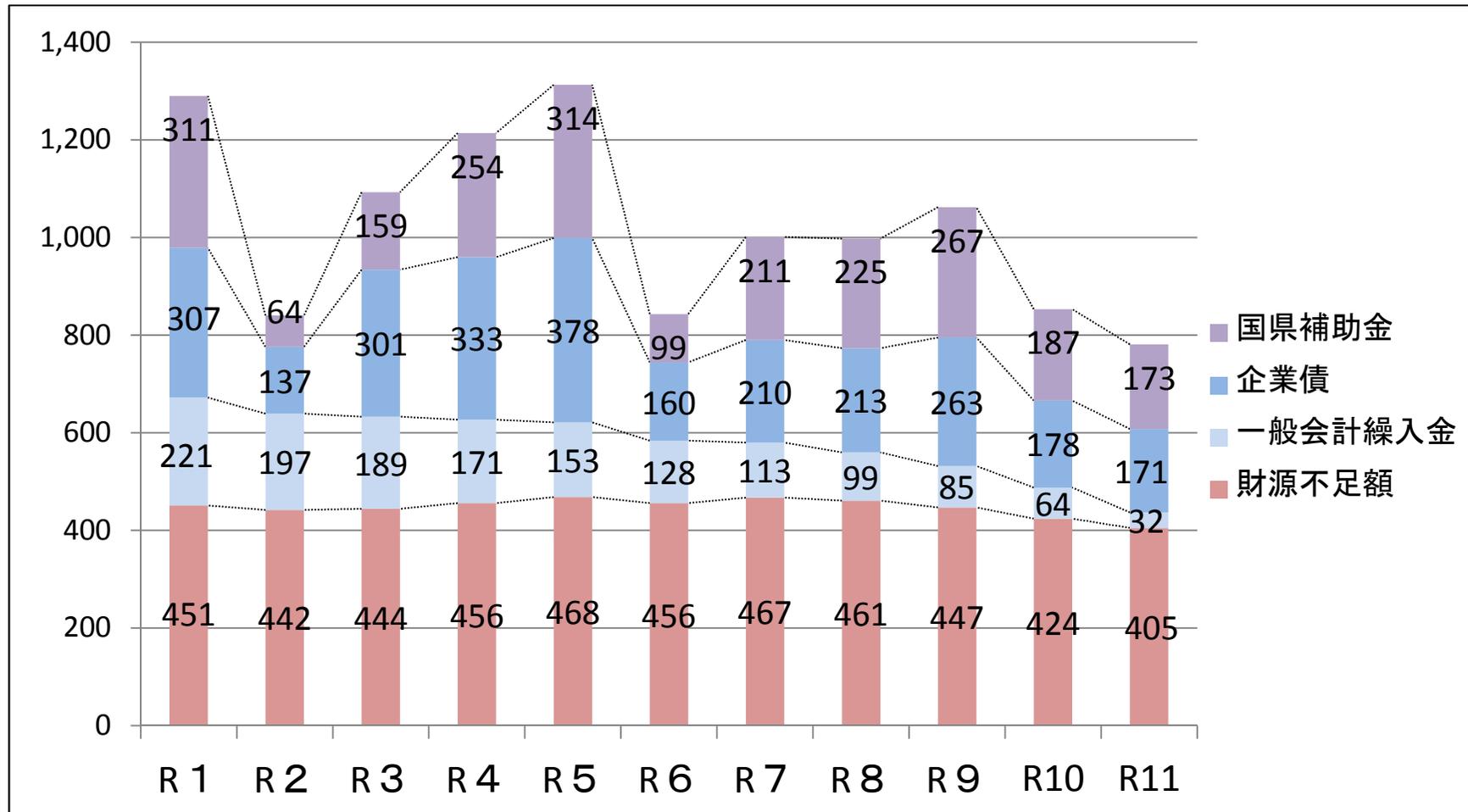
### 建設改良費(資本的支出)で予定している主な事業

- 東深川浄化センター耐震補強事業
- 東深川浄化センター自家発電設備更新事業
- 東深川浄化センターガスタンク設備更新事業
- 東深川浄化センター沈砂池設備更新事業
- 東深川浄化センター用水設備更新事業
- 老朽管改築更新事業
- 農業集落排水処理施設改築更新事業
- 漁業集落排水処理施設改築更新事業

## 投資・財政計画(収支計画)

### 資本的收入

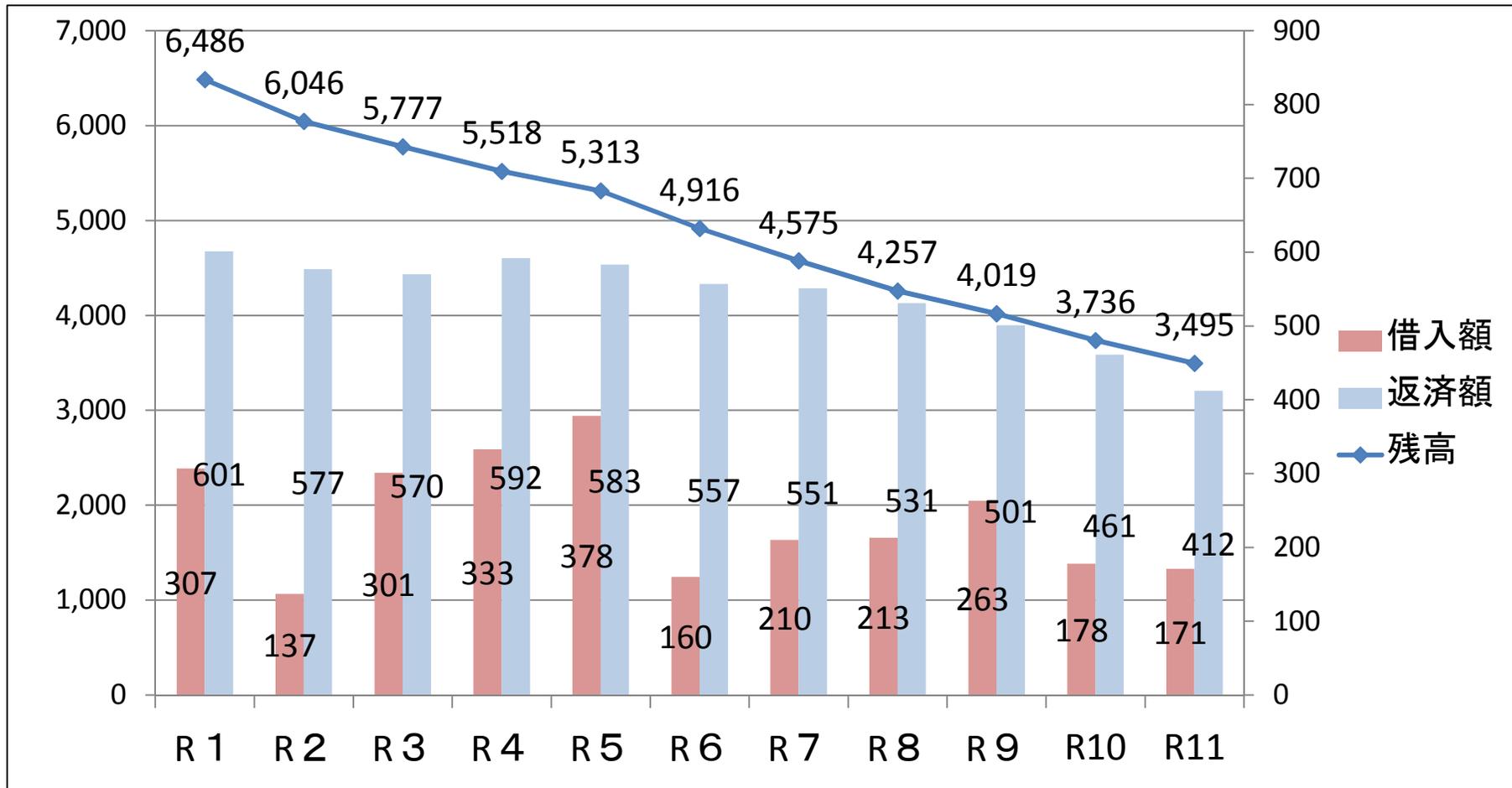
(単位:百万円)



## 投資・財政計画(収支計画)

### 企業債

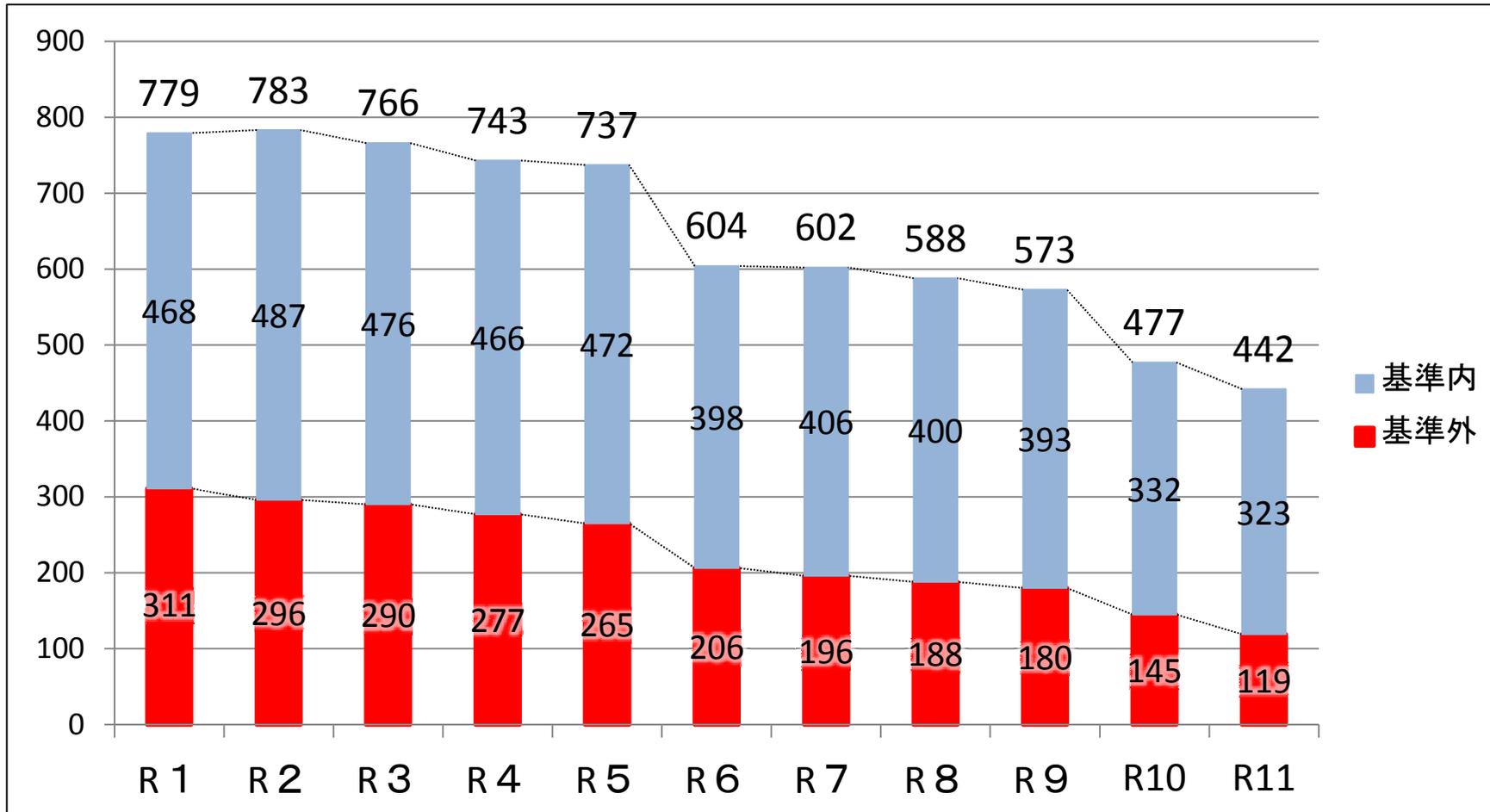
(単位:百万円)



## 投資・財政計画(収支計画)

### 一般会計繰入金

(単位:百万円)



## 投資・財政計画(収支計画)

### (2) 投資・財政計画(収支計画に当たりの説明)

#### ① 収支計画のうち**投資**についての説明

##### 【目標】

- 予防保全型の施設管理を実施することにより、「投資の最適化、平準化」を進め、投資費用を圧縮するとともに、「経営の効率化」を図ることで事業運営にかかるトータルコストの削減を目指す。

## 投資・財政計画(収支計画)

### ② 収支計画のうち**財源**についての説明

#### 【目標】

- 使用料単価の見直しを4年スパンで実施し、本市における適正な使用料とする
- 最適な整備を行うことにより企業債の抑制を行う
- 基準外繰入金の抑制に努める

### ③ 収支計画のうち**投資以外の経費**についての説明

#### ○職員給与費に関する事項

整備計画や災害の対応、維持管理業者への監督・指導などの業務を抱え、現在では下水道事業を担うために必要最低人数に近い。プロパー職員の退職や他部署への異動が多いなか技術力の継承が急務となっている状況であるため、今後の職員給与費は現行の水準を維持する。

#### ○動力費に関する事項

機器の老朽化で生じる能力の低下による動力費の上昇を抑制し、動力費の上限をR2の決算見込みとした。

#### ○修繕費に関する事項

機器の保守・点検を計画的、継続的に行うことによる機器の故障を未然に防止することにより、今後の修繕費の上限をR2の決算見込みとした。

#### ○委託費に関する事項

労務単価の上昇を加味し増加傾向として算定した。

## 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

経営戦略策定後については、経営戦略の履行状況等を確認するため、フォローアップを行い、5年を目途に見直しを行う。

- ・経営戦略における計画と毎年度の決算額とを確認する。
- ・必要に応じて投資経費の見直しを行いながら、経営改善に努める。
- ・5年を目途に経営戦略(計画)の見直しを行う。